

授業科目

中国語II [斯日 古楞]

担当教員名 斯日 古楞	対象学年	2・3	対象学科	全学科
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○			

授業の概要

中国語Iを基礎とし、各生活場面で使う中国語を学ぶ。中国の文化や習慣などについても学ぶ。中国語という外国語を通じて異文化理解を深め、視野を広げる。教科書は中国語Iで使われた教科書を継続します。

授業の目的

中国語IIでは主にコミュニケーション力を高め、より幅広いより深い異文化理解を目的とする。

学習目標

- 1、声調とピンインに基づき、正しく発音することができる。
- 2、日常生活で使う基本語彙をマスターする。
- 3、基本文型を応用し、中国語でコミュニケーションができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	発音や文法の復習	講義と演習	斯日 古楞
2	実際の場面における会話の練習 (ホテル、街頭、交通機関、レストラン、ショッピングなど)	講義と演習	斯日 古楞
3	同上	講義と演習	斯日 古楞
4	同上	講義と演習	斯日 古楞
5	同上	講義と演習	斯日 古楞
6	同上	講義と演習	斯日 古楞
7	同上	講義と演習	斯日 古楞
8	同上	講義と演習	斯日 古楞
9	同上	講義と演習	斯日 古楞
10	同上	講義と演習	斯日 古楞
11	パソコンの中国語入力の基本方法	講義と演習	斯日 古楞
12	同上	講義と演習	斯日 古楞
13	中国語のウェブサイトの紹介	講義と演習	斯日 古楞
14	全体的に復習する	講義と演習	斯日 古楞
15	まとめ	講義と演習	斯日 古楞

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

授業参加と試験により評価する

履修上の留意点

中国語Iが履修済みであることが条件である。
授業中にたくさん会話練習をする。
中国語Iの教科書を引き続き使用。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。